

令和2年度事務事業評価シート

【基本事項】

事務事業名	道路の維持管理				担当課名	建設水道課		
(予算書コード)	08-01-01-05-01、08-02-01-05-01、08-02-02-10-01、08-02-03-01-01・10-01・12-01、08-02-04-10-01、08-02-05-10-01・12-01				担当係名	建設管理係		
事業区分	単年度予算	運営方法	直 営	委 託	補 助			
事業の開始・終了	令和 年 月	～	令和 年 月	(事業に始期又は終期がある場合に記入)				
根拠法令等の名称	道路法							

【事業の概要及び分析】

事業の目的 (誰に対して) (何のために) (何を行うか)	道路は地域社会を支える基盤として重要な役割を担っており、住民の安心・安全な暮らしのために、計画的に道路、橋りょう維持補修工事を行う。冬期間は安全でスムーズな交通を確保するため、幹線道路の凍結防止剤の散布、除雪を行う。						
事業の活動成果 (事業の実施によりどのような状態にしたいか)	指標名	指標の算出方法	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	道路維持補修工事実施路線数	同左	路線数	目 標	7	7	8
				実 績	7	7	7
				達成率	100.0%	100.0%	100.0%

【投入されたコスト・業務量】

		令和元年度決算		令和2年度決算		令和3年度予算		
事業費	事業費 A	260,890 千円		303,582 千円		434,611 千円		
	うち 会計年度任用職員人件費	人	0.50	人	1,109	人	1,155	
	正規職員人件費 B	3.00 人	19,797 千円	3.00 人	19,250 千円	3.00 人	20,247 千円	
事業費合計 C (A+B)		280,687 千円		322,832 千円		454,858 千円		
財源内訳	特定財源	国の負担	27,319 千円		32,572 千円		114,400 千円	
		県の負担	千円		千円		千円	
		町の借入	111,100 千円		172,400 千円		215,200 千円	
		その他	68,417 千円		25,103 千円		39,556 千円	
		うち 使用料・手数料 D	千円		千円		千円	
一般財源 (町の負担)		73,851 千円		92,757 千円		85,702 千円		
受益者負担率 (D/C)		0 %		0 %		0 %		

【事業の評価】

区 分	評 価	説 明
妥当性 町が行う必要があるか 国・県・民間・住民と役割分担できないか	B	町以外では行えない 道路は地域社会を支える基盤として重要な役割を担っており、住民の安心・安全な暮らしのために、町道の維持補修、改良工事を行い、機能維持、利便性の向上を図る。また、橋りょうの健全性に確保を図る。
公平性 受益者が偏っていないか 適切な費用負担を求めているか	A	適切である 年次計画を基に道路維持補修工事を実施。区からの要望等により、傷んだ箇所を局所的に補修工事を実施。橋りょう長寿命化修繕計画を基に、計画的に橋りょうの維持補修工事を進める。
効率性 予算、人員と成果を踏まえ、事業が効率的に行われているか	A	適切である 年次計画を基に進められており、計画以外の箇所については、緊急性や重要性等を勘案し進める。
達成度 事業の活動成果は目標を上回っているか (下回っている場合は、その理由)	B	目標値どおりである 年次計画で進めており、概ね計画通りに進んでいる。

総合評価	拡 充	道路維持補修工事は計画通り実施した。区からの要望箇所については、局所的に補修工事を実施した。町道湖岸通り線等街路灯整備事業等、道路改良事業を実施し、道路環境、利便性が向上した。橋りょう関係では、橋りょう長寿命化修繕計画を基に、補修設計のほか、二巡目の橋りょう点検を計画的に実施し、橋りょうの健全性を確保した。
前年度の総合評価 (評価が変わった場合はその理由)	拡 充	

令和2年度事務事業評価シート

【基本事項】

事務事業名	交通安全対策				担当課名	建設水道課		
(予算書コード)	08-01-02-05-01・10-01				担当係名	建設管理係		
事業区分	単年度予算	運営方法	直 営	委 託				
事業の開始・終了	年	月	～	年	月	(事業に始期又は終期がある場合に記入)		
根拠法令等の名称	道路交通法							

【事業の概要及び分析】

事業の目的 (誰に対して) (何のために) (何を行うか)	歩行者等が交通事故に遭わない、事故のない安全で快適な交通社会の実現のため、交通安全施設の整備及び啓発活動を行う。						
事業の活動成果 (事業の実施によりどのような状態にしたいか)	指標名	指標の算出方法	単位		令和元年度	令和2年度	令和3年度
	町内の交通事故件数	同左	件	目 標	70	70	60
				実 績	65	52	/
				達成率	107.7%	134.6%	/

【投入されたコスト・業務量】

		令和元年度決算		令和2年度決算		令和3年度予算	
事業費	事業費 A	6,946 千円		8,274 千円		7,537 千円	
	うち 会計年度任用職員人件費	人	千円	0.50 人	1,109 千円	0.50 人	1,154 千円
	正規職員人件費 B	1.00 人	6,599 千円	1.00 人	6,417 千円	1.00 人	6,749 千円
事業費合計 C (A+B)		13,545 千円		14,691 千円		14,286 千円	
財源内訳	特定財源	国の負担	千円	千円	千円	千円	千円
		県の負担	千円	千円	千円	千円	千円
		町の借入	千円	千円	千円	千円	千円
		その他	千円	千円	千円	千円	千円
		うち 使用料・手数料 D	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源 (町の負担)		13,545 千円		14,691 千円		14,286 千円	
受益者負担率 (D/C)		0 %		0 %		0 %	

【事業の評価】

区 分	評 価	説 明
妥当性	B	町以外では行えない 区要望、通学路の合同点検、巡回パトロール等により、危険箇所を把握し、必要な箇所に対し整備を行っている。
公平性	A	適切である 区や学校関係者の要望を踏まえ、通学路を中心に、危険性の高い箇所から整備を行っている。
効率性	A	適切である 通学路を中心に、危険性の高い箇所から整備を行っている。
達成度	A	目標値以上である 町内の交通事故件数は前年比13件の減。コロナ禍の影響により事故件数が減少傾向であるが、関係機関、団体と連携し、街頭啓発活動の実施、また、危険性の高い箇所へ交通安全施設整備を行い成果が表れている。

総合評価	現状維持	通学路を中心に、危険性の箇所への交通安全施設整備を行った。また、関係機関、団体等と連携し街頭啓発活動を実施し、交通安全事故防止の推進を図った。
	現状維持	
前年度の総合評価 (評価が変わった場合はその理由)	現状維持	